

財団法人長崎アイバンク 平成 22 年度事業報告

1) 登録者:平成 22 年度は 412 名の純増があったので、合計は 15,354 名である。

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。

献眼者数	54 名
摘出角膜数	106 眼
移植利用角膜数	32 眼
保存眼数 (表層移植用)	62 眼

※ 22 眼は感染症検査陽性で利用不可等のため廃棄処分にした。

(2) 現在の長崎県の角膜移植待機患者数は、

長崎大学病院	17 名
国立長崎医療センター	0 名
佐世保市立総合病院	0 名
N T T 西日本長崎病院	0 名

の計 17 名である。

(3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ 13 眼の角膜をあっせんした。

久大眼球銀行	2 眼
(財) 福岡県医師会眼球銀行	6 眼
(財) 佐賀県アイバンク協会	2 眼
(財) 宮崎県アイバンク協会	2 眼
(財) 大分県アイバンク協会	1 眼

3) 会議

(1) 長崎アイバンク理事会・評議員会

平成 22 年 5 月 23 日 ホテルニュー長崎

(2) 第 32 回 九州各県アイバンク連絡協議会

平成 22 年 7 月 30 日 東京 (上松・浜崎)

(3) 第 33 回 全国アイバンク連絡協議会

平成 22 年 7 月 30 日 東京 (上松・浜崎)

(4)第 21 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 22 年 7 月 31 日 東京（浜崎）

(5)第 22 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 23 年 2 月 18 日 東京（浜崎）

4) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 54 名である。

5) 普及啓発活動

(1)平成 22 年 7 月 24 日

波佐見町総合文化会館にてライオンズクラブ 337-C 地区 献血・献眼・献腎
推進正副委員会が開催され、理事長 北岡 隆が「角膜治療の進歩」について
講演した。

(2)平成 22 年 10 月 3 日

長崎市及び西彼杵郡のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診
が行われ、25 名が受診した。

於：日赤長崎原爆病院眼科外来 主催：長崎県眼科医会、長崎アイバンク